

# 質疑並びに一般質問



5日間にわたり、15人の議員が質問しました。  
ここでは、その一部をお知らせします。

## 教育 市立かしわ幼稚園

**問** 市長のマニフェストで市立かしわ幼稚園は廃止ではなく、公立幼稚園として意味のある活用方法を再度検討されている。市長の諮問機関を早急に立ち上げ、議論すべきでは。

**答** どういった形かはこれから検討するが、幼稚園の関係者や市民を交えた話し合いの場をつくっていく。その中で公立としての存在意義をどうすべきかについては、今後具体的に考えていきたい。

**問** 風早北部小の児童数増加による教室不足の対応として、どのような検討がなされたのか。また、今後どのように対応していくのか。



風早北部小学校仮設校舎

**答** 22年度から使用できる仮設校舎5教室をつくることにも、通学区の一部を隣接する大津ヶ丘第一小に変更する案を通学区審議会に諮問し、答申前の早い段階で小学校やPTA等に説明を行った。しかし、変更案の協議等の前に

地区から反対意見が出された。審議会からは今回の諮問案についても変更案の実施は行わないこととし、今後十分検討し、地域住民への説明、協議を行うていくことなどを主な内容とした答申を受けた。今後対応策の検討を行うが、引き続き保護者や地域住民への説明を丁寧に行い、子供たちのよりよい教育環境の維持向上に努めていく。

の作成、職場実習先の確保、民間の障害者就労支援事業所や職業安定所とのネットワークの構築を行っていく予定である。また、総合相談支援事業では、障害のある方、子供の発達や発育に不安を持つ方からの相談に対し保健所予防課や子ども発達センターと連携をとることが容易となり、

多彩な専門職がかかわること、総合的な療育支援につながると考えている。  
**問** 高齢化が進む中で、認知症の方も増加してくることが予想される。認知症対策及び高齢独居対策として成年後見制度が重要となるが、現状の課題と今後の取り組みは。

**答** 地域包括支援センターでは認知症の介護、医療に関する相談のほか、成年後見制度の利用方法等の紹介や支援も行っている。特にひとり暮らしの高齢者の場合、後見人がいない方については、老人福祉法により市長が申し立てることで対応している。後見人受任者を調整するため多くの時間を要することが大きな課題となっている。今後の取り組みとして一般市民を後見人として養成する、市民後見人制度について検討している。

の作成、職場実習先の確保、民間の障害者就労支援事業所や職業安定所とのネットワークの構築を行っていく予定である。また、総合相談支援事業では、障害のある方、子供の発達や発育に不安を持つ方からの相談に対し保健所予防課や子ども発達センターと連携をとることが容易となり、

**問** 妊産婦支援について、市独自の産産支援制度の取り組み及び進捗状況は。

**答** 妊婦健康診査は、20年度の5回から21年度は14回へ助成回数拡大している。また、里帰り出産などに対応するため、健診の委託契約をしていない医療機関を利用した場合の償還払い制度を創設した。また、両親学級の定員拡大及び訪問指導の充実など、支援策の拡充に取り組む。今後も妊産婦の負担軽減については、市の財政状況を勘案しながら検討していく。

**問** 障害者就労支援センターの開設に向け、22年度はどのような取り組みを行うのか。また、総合相談支援事業とはどのような取り組みか。

**答** 障害者就労支援センターは、22年度の1年をかけて職業訓練や職能評価プログラム

**問** 中核市や近隣市との比較で、柏市の臨時財政対策債に対する依存度は大きいのか。

**答** 今年度は臨時財政の発行可能額約63億円のうち51億円を計上している。柏市一般会計予算に対する臨時債の計上額の割合は約4・6%で、近隣の6市で比べると小さいところ

**問** 市長はマニフェストの中で、中学生でもわかる予算書の作成と言っているが、今後の取り組みは。

**答** 現段階では具体的なイメージが固まっていないが、全国の市町村で実際に市民向けにわかりやすい予算書が発行されている。それらを参考にいいところを抽出して、わかりやすい予算書ができるよう

**問** 公契約条例について、全国に先駆けて野田市が制定し、各市での制定を呼びかけているが市の対応は。

**答** 野田市が条例制定の目的とする、「労働者の適正な労働条件を確保することで公契約に係る業務の質を確保する」との趣旨には賛同できるが、

**問** パブリックコメント制度に対して、単なるポーズではないかという懸念が持たれていることは認識している。だが、寄せられた一つ一つの意見すべてに反応することは難しい状況であるため、寄せられた意見に対し、どのように真摯に向き合っていくのかという姿勢の問題になると考えている。

努力していきたい。  
**問** 公契約条例について、全国に先駆けて野田市が制定し、各市での制定を呼びかけているが市の対応は。

**問** 市長は事業の優先度を判断する手段として事業仕分けを行おうと考えていると理解している。しかし、ほかの自治体の実施例を見ると、仕分け対象事業のほとんどが廃止ではなく、要改善という評価結果になっている。仕分けによって優先度を明確に判断できているとは言いがたく、市長の考えに沿った事業仕分け



子ども発達センター窓口

**問** 市長は事業の優先度を判断する手段として事業仕分けを行おうと考えていると理解している。しかし、ほかの自治体の実施例を見ると、仕分け対象事業のほとんどが廃止ではなく、要改善という評価結果になっている。仕分けによって優先度を明確に判断できているとは言いがたく、市長の考えに沿った事業仕分け

**答** 事業仕分けそのものによって、事業の優先度を判断しようとは考えていない。仕分け人には、要改善ということだけにとどまらず、一歩踏み込んで、どの部分が悪くてどういう方向性で改善すべきなのかを具体的に指摘してもらいたいと考えている。その後示された方向性に沿って予算編成を行い、その審議を通して、事業の優先度を議会とともに検討していきたい。

**問** パブリックコメント制度に対して、単なるポーズではないかという懸念が持たれていることは認識している。だが、寄せられた一つ一つの意見すべてに反応することは難しい状況であるため、寄せられた意見に対し、どのように真摯に向き合っていくのかという姿勢の問題になると考えている。

の利用率は高いのではないかと考えている。また、総合相談支援事業では、障害のある方、子供の発達や発育に不安を持つ方からの相談に対し保健所予防課や子ども発達センターと連携をとることが容易となり、

**問** 妊産婦支援について、市独自の産産支援制度の取り組み及び進捗状況は。

**答** 妊婦健康診査は、20年度の5回から21年度は14回へ助成回数拡大している。また、里帰り出産などに対応するため、健診の委託契約をしていない医療機関を利用した場合の償還払い制度を創設した。また、両親学級の定員拡大及び訪問指導の充実など、支援策の拡充に取り組む。今後も妊産婦の負担軽減については、市の財政状況を勘案しながら検討していく。

**問** 市長は事業の優先度を判断する手段として事業仕分けを行おうと考えていると理解している。しかし、ほかの自治体の実施例を見ると、仕分け対象事業のほとんどが廃止ではなく、要改善という評価結果になっている。仕分けによって優先度を明確に判断できているとは言いがたく、市長の考えに沿った事業仕分け

**答** 事業仕分けそのものによって、事業の優先度を判断しようとは考えていない。仕分け人には、要改善ということだけにとどまらず、一歩踏み込んで、どの部分が悪くてどういう方向性で改善すべきなのかを具体的に指摘してもらいたいと考えている。その後示された方向性に沿って予算編成を行い、その審議を通して、事業の優先度を議会とともに検討していきたい。

**問** パブリックコメント制度に対して、単なるポーズではないかという懸念が持たれていることは認識している。だが、寄せられた一つ一つの意見すべてに反応することは難しい状況であるため、寄せられた意見に対し、どのように真摯に向き合っていくのかという姿勢の問題になると考えている。

の利用率は高いのではないかと考えている。また、総合相談支援事業では、障害のある方、子供の発達や発育に不安を持つ方からの相談に対し保健所予防課や子ども発達センターと連携をとることが容易となり、

**問** 妊産婦支援について、市独自の産産支援制度の取り組み及び進捗状況は。

**答** 妊婦健康診査は、20年度の5回から21年度は14回へ助成回数拡大している。また、里帰り出産などに対応するため、健診の委託契約をしていない医療機関を利用した場合の償還払い制度を創設した。また、両親学級の定員拡大及び訪問指導の充実など、支援策の拡充に取り組む。今後も妊産婦の負担軽減については、市の財政状況を勘案しながら検討していく。

**問** 市長は事業の優先度を判断する手段として事業仕分けを行おうと考えていると理解している。しかし、ほかの自治体の実施例を見ると、仕分け対象事業のほとんどが廃止ではなく、要改善という評価結果になっている。仕分けによって優先度を明確に判断できているとは言いがたく、市長の考えに沿った事業仕分け

**答** 事業仕分けそのものによって、事業の優先度を判断しようとは考えていない。仕分け人には、要改善ということだけにとどまらず、一歩踏み込んで、どの部分が悪くてどういう方向性で改善すべきなのかを具体的に指摘してもらいたいと考えている。その後示された方向性に沿って予算編成を行い、その審議を通して、事業の優先度を議会とともに検討していきたい。

**問** パブリックコメント制度に対して、単なるポーズではないかという懸念が持たれていることは認識している。だが、寄せられた一つ一つの意見すべてに反応することは難しい状況であるため、寄せられた意見に対し、どのように真摯に向き合っていくのかという姿勢の問題になると考えている。

の利用率は高いのではないかと考えている。また、総合相談支援事業では、障害のある方、子供の発達や発育に不安を持つ方からの相談に対し保健所予防課や子ども発達センターと連携をとることが容易となり、

## 保健福祉 妊産婦支援のさらなる拡充を

## 企画 事業の優先度の判断方法は

## 質問者と質問項目

※紙面の都合上、1人3項目に限り掲載しています。  
詳しくはインターネット録画映像をごらんください。

**村田章吾**  
医療/後発医薬品普及促進  
債務削減/公園整備費削減  
財源確保/定期借地権活用

**石井昭一**  
合併協定書の認識  
教育行政について通学区  
環境行政/地球温暖化対策

**永野正敏**  
職員の意識について  
医療費抑制に向けて  
柏市PR施策について

**小松幸子**  
協働型福祉社会  
プレーパーク  
被災者住宅支援

**佐藤尚文**  
事業仕分けの目的  
利用度の低い公園のあり方  
風早北部小学校の通学区  
中沢裕隆

**外国人参政権**  
道徳教育の推進  
低炭素化社会に向けた取り組み

**小林敏枝**  
新年度予算・事業仕分け  
地域の話し合い場の会館  
新中央図書館・公設市場

**古川隆史**  
事業仕分けについて  
就労支援センターについて  
事業の波及効果について

**武藤美津江**  
国保料の引き上げ中止を  
保育料の負担軽減を求める  
障害者本位の自立支援を  
本池奈美枝

**宮田清子**  
「公契約条例」制定の検討を  
男女共同参画行動計画推進  
来年度の予算編成について  
化学物質過敏症の取り組み  
互助会への負担金をゼロに

**日下みや子**  
近隣センターの存続と充実  
市立かしわ幼稚園の発展を  
湖南地区周辺に学校建設を  
山田一

**老老介護と共生介護**  
子育て支援と施設整備の拡充  
文化会館の耐震対応と整備要望  
平野光一

**予算案で暮らしを守るか**  
市営住宅の増設は急務  
教員の異常な長時間勤務  
塚本竜太郎

**柏市平和都市宣言25周年**  
学校給食の柏産米の活用  
逆井駅踏切拡張と陸橋整備

インターネット議会中継は、柏市ホームページからアクセスできます。  
(アドレス <http://www.city.kashiwa.lg.jp/>)  
アクセス方法は「市議会」→市議会のページの「議会中継」をクリックし、操作方法をお読みの上ご確認ください。なお、3月の定例会会議録は、柏市のホームページ上で5月下旬に公開予定です。